

決算状況をお知らせします

☎ 財政課 ☎086-803-1146 ☎086-803-1735 ✉zaiseika@city.okayama.lg.jp

市では、積極的に行政改革を進めてきた結果、財政指標は総じて健全に推移しているところですが、今後も「岡山市第六次総合計画」に基づくさまざまな政策を推進し、基本目標である「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」の実現に向けて都市の持続的な発展を財政面で支えていく必要があります。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を含め、今後の税収や地方交付税など一般財源総額の大幅な増加が見込めない中で、少子高齢化の進展による社会保障関係経費の増加、市有施設の耐震化および老朽化施設の改修・更新、防災・減災対策などにも多額の経費が必要となることが見込まれます。

このような状況に対応するため、引き続き行政改革を推進し、将来世代に負担を先送りしないよう、財源調整基金の残高を一定程度保ち、市債の残高や指標にも留意しつつ、財政運営の健全性を確保した上で、市民福祉の向上とまちの発展を実現していきます。

◆令和元年度決算とは

市の会計は基本的な経費を経理する「一般会計」と、特定の事業を経理する「特別会計」や「事業会計」で構成されています。

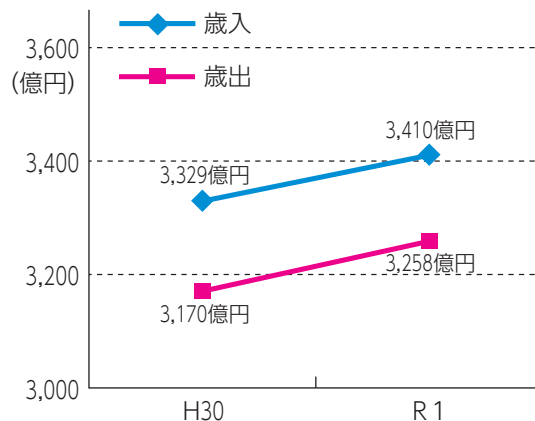
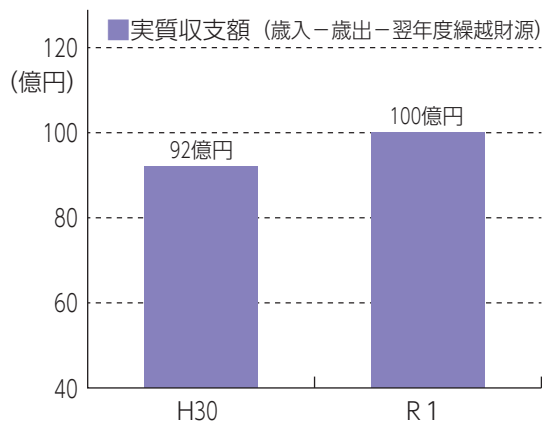
ここでは、地方公共団体同士を比べるために用いる「普通会計」について決算状況のあらましを説明します。

◆決算規模

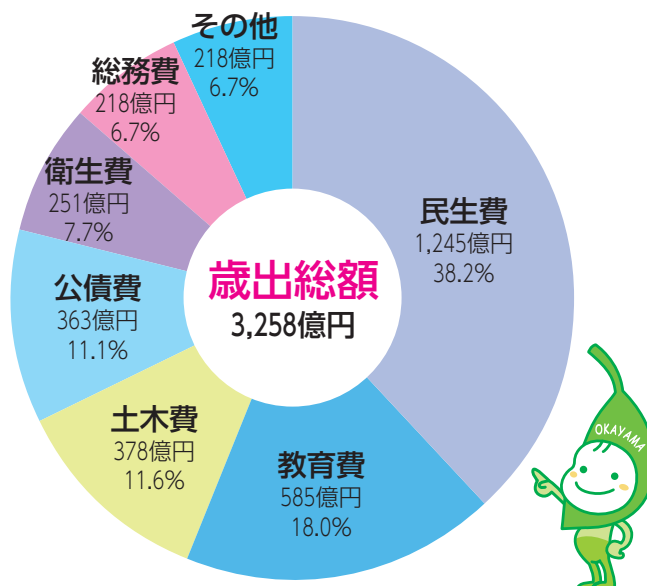
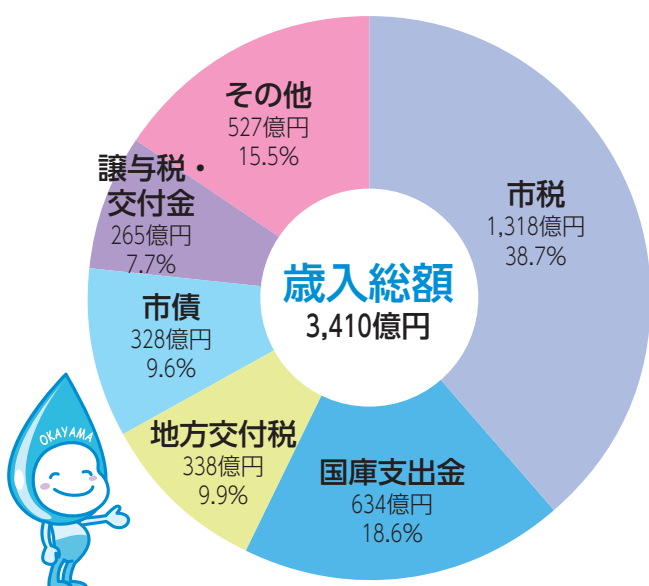
令和元年度の普通会計の決算額は、歳入が3,410億円、歳出が3,258億円となっています。

歳入から歳出を差し引くと152億円の黒字となりますが、ここから令和2年度に繰り越した事業に充てる経費を差し引いた100億円が実質的な黒字（実質収支額）となります。

歳入歳出決算額の推移など



<普通会計の歳入歳出総額>



◆歳入

～重要な市税収入1,318億円で歳入全体の38.7%～

令和元年度の歳入決算額のうち最も多いのは、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、1,318億円です。この市税収入は、歳入全体の38.7%を占めています。

◆歳出

～福祉に使ったお金が一番多く1,245億円～

令和元年度の歳出決算額を目的別に分類すると、福祉のための経費である民生費が38.2%と最も多く、続いて教育費が18.0%、土木費が11.6%、公債費が11.1%などとなっています。

健全化判断比率 4 指標などの状況

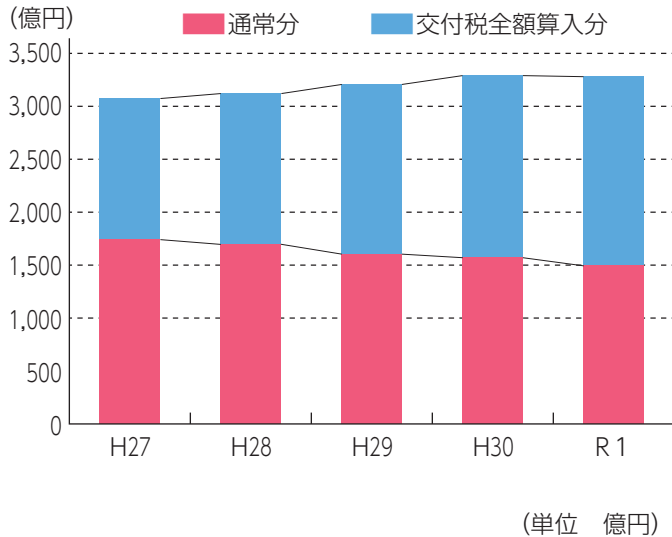
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全性に関する比率を公表しており、市は令和元年度決算において健全化判断比率 4 指標および資金不足比率の全ての基準をクリアしています。

指 標		説 明	岡山市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率	－※ 1	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字額（または資金の不足額）の標準財政規模に対する比率	－※ 1	16.25%	30%
	実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率	5.6%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	－※ 2	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	－※ 1	20%	
経常収支比率		人件費など経常的な経費の経常的な一般財源に対する比率	90.2%		

(※ 1) 実質赤字額、資金不足額がないため「－」と表示

(※ 2) 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「－」と表示

市債残高の推移



	H27	H28	H29	H30	R 1
普通会計市債残高	3,074	3,121	3,207	3,290	3,280
■ 交付税全額算入分	1,333	1,425	1,603	1,720	1,787
■ 通常分	1,741	1,696	1,604	1,570	1,493

財源調整のための基金残高

	残高 (前年からの増減)	説 明
財政調整基金	194億円 (△ 7 億円)	年度間の財源不足に備える目的で設置している基金で、市税の歳入の増減や災害への対応など、財源が不足する年度に活用します。
市債調整基金	14億円 (± 0 億円)	市債の償還に必要な財源を確保する目的で設置している基金で、償還期限を繰り上げて市債の償還を行う場合や、年度によって市債の償還が多額になる場合に活用します。
公共施設等整備基金	168億円 (+ 7 億円)	防災・減災事業や施設の老朽化などに対応する目的で設置している基金です。

※施設の老朽化などに対応するための公共施設等整備基金への積み立てと財源調整のための取り崩しの結果、前年度とほぼ同額となりました。

詳細は、財政課HP内の「令和元年度決算（案）の概要」、
「岡山市の財政状況【第22版】」をご覧ください。



○宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

岡山県内で販売された宝くじの収益金は、岡山県および岡山市の収入になります。

宝くじは、
岡山県内で
買ってね!

